

令和 2 年 度

事 業 報 告 書



社会福祉法人 朝倉市社会福祉協議会

2. 地域福祉及び連絡調整の強化

- (1) 地域福祉活動計画推進事業 ————— 1 6
- (2) 地域福祉の推進 ————— 1 6
 - ①地区社会福祉協議会連絡会
 - ②各種団体との連携

3. ボランティア活動及び福祉教育

- (1) ボランティアの育成、養成 ————— 1 6
 - ①育成研修
 - ②養成研修
 - ③ボランティアステーションの貸出
- (2) 福祉教育の推進 ————— 1 7
- (3) ボランティア活動の広報・啓発・活動の強化 ————— 1 7
- (4) ふれあいのまちづくり事業 ————— 1 7

4. 在宅生活支援等事業の推進

- (1) 総合相談 ————— 1 7
- (2) 生活福祉資金貸付事業 ————— 1 7
- (3) ふくおかライフレスキュー事業 ————— 1 8
- (4) 日常生活自立支援事業 ————— 1 9
- (5) 地域ミニデイサービス推進事業 ————— 1 9
- (6) 通所型介護予防普及啓発事業 ————— 1 9
- (7) 外出支援サービス事業 ————— 2 0
- (8) 地域送迎事業 ————— 2 0
- (9) 高齢者筋力トレーニング事業 ————— 2 0
- (10) 健康づくりサポート事業 ————— 2 1
- (11) P－UP教室 ————— 2.1
- (12) 年賀寄付金配分金事業 ————— 2 1
- (13) 地域支え合いセンター事業 ————— 2 2
- (14) 災害ボランティアセンター運営事業 ————— 2 2

5. 共同募金事業

- (1) 老人福祉活動事業 ————— 2 3
- (2) 障害児（者）福祉活動事業 ————— 2 3
- (3) 児童青少年福祉活動事業 ————— 2 3
- (4) 福祉育成援助活動事業 ————— 2 4

6. 障害者総合支援法等障がい者関連事業の推進

- (1) 地域生活支援事業 ————— 2 5
 - ①障がい者移動支援事業

目 次

I 令和2年度事業の概要	1
II 実施事業	
1. 社協運営及び機能強化	
(1) 法人運営事業	2
①事務局組織図	
(2) 会議等の開催状況	2
①理事会	
②評議員会	
③三役会	
④監事監査	
⑤評議員選任・解任委員会	
⑥表彰審査会	
⑦福祉表彰式	
(3) 広報	6
①社協だより	
広報委員会	
②ホームページ	
(4) 寄附	9
①一般寄附	
②香典返し寄附	
③災害支援金	
④物品寄附	
(5) 共同募金事務	9
①共同募金会朝倉市支会会議	
②啓発活動	
③募金活動	
(6) 連絡調整等	11
①社協本所事務事業調整会議	
②両筑地区社会福祉協議会	
③11市社会福祉協議会	
④県南11地区社会福祉協議会	
⑤年間会議開催（出席）状況	
(7) 社会福祉充実計画	15
(8) 職員研修	15

7. 指定管理運営事業の受託

- (1) 老人福祉センター指定管理 ————— 26
 - ①朝倉老人福祉センター
 - ②杷木老人福祉センター

8. その他自主事業

- (1) 福祉機器等の貸出 ————— 26
- (2) 社会福祉援助技術実習の実施 ————— 26



I 令和2年度事業の概要

2020年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に追われた一年であったように感じます。2019年11月末に中国で発生した時点では、対岸の火事との見方もありましたが、瞬く間に日本にも火の粉が降り注ぎ、感染症が拡大してきました。初めてのことで巷では夏場には、終息するのではないかとの安易な思い込みもありましたが、「終息」の文字はなかなか見えませんでした。このことにより、私たちの生活様式や働き方にも大きな変化が生じ、社会福祉活動等に大きく影響を及ぼしました。

全国の市町村社会福祉協議会では、「生活福祉資金貸付制度の特例貸付」受付窓口ということで、新型コロナウイルス感染症の影響により、生活が困窮した方が増加し、相談の予約をしなければならないほど相談や貸付事務に追われていきました。このほか、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためにやむなく事業の延期や中止など平成29年7月の九州北部豪雨災害以外での中止を初めて味わうことになりました。

複合化・多様化した地域生活課題の改善に向けて、地域住民、ボランティア、民生児童委員、社会福祉法人、企業、団体の関係者がそれぞれの力を発揮し、地域住民を支えなければなりません。これには、時代の変化に合わせた新たな戦略が必要になります。なかでも社協は、自身の強みを活かし、それぞれの力をまとめ、活性化に取り組む必要があります。折しも令和2年社会福祉法等一部改正により、地域共生社会の実現のために様々な措置を講ずるよう、国も重層的支援体制整備事業に焦点を合わせてきています。これからも、皆さま方と「地域生活課題」の解決に資し、「ともに生きる豊かな地域社会づくり」に尽力してまいります。



議案第2号	評議員の選任及び解任の候補者の提案について	可決
議案第3号	定時評議員会の招集について	承認
議案第4号	令和元年度事業報告及び令和元年度計算書類等の承認について	承認
議案第5号	令和2年度（第1次）補正予算（案）について	可決

第2回（令和2年9月4日）保健福祉センター2階 第7学習室

報告又は議案番号	件名	結果
報告第3号	職務執行状況報告について（3月～8月）	承認
議案第6号	令和2年度（第2次）補正予算（案）について	可決
議案第7号	評議員会の招集について	可決

第3回（令和2年12月3日）保健福祉センター2階 第5学習室

報告又は議案番号	件名	結果
議案第8号	令和2年度第3次補正予算（案）について	可決
議案第9号	社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会運営細則の一部改正について	可決
議案第10号	評議員選任・解任委員の選任について	可決
議案第11号	評議員会の招集について	可決

第4回（令和3年3月23日）保健福祉センター2階 第7学習室

報告又は議案番号	件名	結果
報告事項	職務執行状況報告（9月～2月）について	承認
第12号議案	第4次補正予算（案）について	可決
第13号議案	職員の給与等に関する規程の一部改正について	可決
第14号議案	職員就業規則の一部改正について	可決
第15号議案	嘱託職員就業規則の一部改正について	可決
第16号議案	臨時職員就業規則の一部改正について	可決

第17号議案	登録臨時職員就業規則の一部改正について	可決
第18号議案	育児・介護休業等に関する規則の一部改正について	可決
第19号議案	評議員選任・解任委員の解任及び選任について	可決
第20号議案	令和3年度事業計画（案）について	承認
第21号議案	令和3年度当初予算（案）について	承認
第22号議案	第3回評議員の招集について	可決

②評議員会

第1回（定時評議員会 令和2年6月29日）朝倉老人福祉センター2階 集会室

報告又は議案番号	件 名	結果
議案第1号	令和元年度（第4次）補正予算の専決処分の承認について	承認
議案第2号	令和元年度事業報告及び令和元年度計算書類等の承認について	承認
議案第3号	令和2年度（第1次）補正予算（案）の承認について	承認

第2回（令和2年9月14日）ピーポート甘木2階 第4・5学習室

報告又は議案番号	件 名	結果
議案第4号	令和2年度（第2次）補正予算（案）について	承認

第3回（令和2年12月17日）ピーポート甘木2階 第5学習室

報告又は議案番号	件 名	結果
議案第5号	令和2年度第3次補正予算（案）について	承認

第4回（令和3年3月15日）朝倉老人福祉センター2階 集会室

報告又は議案番号	件 名	結果
第6号議案	令和2年度第4次補正予算（案）について	承認
第7号議案	職員の給与等に関する規程の一部改正について	可決
第8号議案	職員就業規則の一部改正について	可決

第9号議案	嘱託職員就業規則の一部改正について	可決
第10号議案	臨時職員就業規則の一部改正について	可決
第11号議案	登録臨時職員就業規則の一部改正について	可決
第12号議案	育児・介護休業等に関する規則の一部改正について	可決
第13号議案	令和3年度事業計画（案）について	承認
第14号議案	令和3年度当初予算（案）について	承認

③三役会（保健福祉センター2階 第6学習室）

区 分	実 施 日	内 容
第1回	令和2年6月4日	① 第1回理事会報告事項について ② 第1回理事会及び評議員会提出議案について
第2回	8月27日	① 第2回理事会報告事項について ② 第2回理事会及び評議員会提出議案について
第3回	11月26日	① 第3回理事会・評議員会提出議案について
第4回	令和3年2月22日	① 第4回理事会報告事項について ② 第4回理事会及び評議員会提出議案について

④監事監査（ワークステーション）

区 分	実 施 日	内 容
第1回	令和2年5月14日	午前9時～午後3時30分

⑤評議員選任・解任委員会（保健福祉センター2階 第8学習室・ボランティアステーション）

区 分	実 施 日	内 容
第1回	令和2年6月22日	① 社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会評議員解任について ② 社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会評議員選任について

⑥表彰審査会

令和2年9月17日木曜日 第8学習室 午前10時から
 表彰審査員 出席者 7名 欠席者 2名
 審査件数 10件（承認 10件 未承認 0件）

⑦福祉表彰式 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、入場制限。個別写真撮影。

令和2年10月21日水曜日 第5学習室 午前10時から
 [受賞者] 社会福祉事業功労者 該当者なし
 社会福祉事業協助者 表彰状 3名
 社会福祉事業協助者 感謝状 4名
 寄付を行った者又は団体 感謝状 3団体 受賞辞退 0名

(3) 広報

①社協だより

機関紙である「社協だより」を広報委員会監修のもと、年6回（奇数月）発行し、
 本会の事務・事業等について、見やすい分かりやすいを重点にかつ詳細に周知し、
 啓発に努めるとともに、ホームページについても常に情報を更新しながら引き続き
 運用を行いました。

広報委員会（ボランティアステーション、第7・8学習室）

区 分	実 施 日	内 容
第1回	4月 3日※	令和2年5月1日号校正
第2回	6月 2日	令和2年7月15日号編集
第3回	6月12日	令和2年7月15日号校正
第4回	7月30日	令和2年9月15日号編集
第5回	8月17日	令和2年9月15日号校正
第6回	10月5日	令和2年11月15日号編集
第7回	10月16日	令和2年11月15日号校正
第8回	11月16日	令和3年1月15日号編集
第9回	12月 2日	令和3年1月15日号校正
第10回	令和3年1月28日※	令和3年3月15日号編集
第11回	2月15日※	令和3年3月15日号校正

第12回	3月19日	令和3年5月1日号編集
------	-------	-------------

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止し、メール及びファックスにて編集等確認。

広報紙「社協だより」の発行

発行日 (通算発行NO.)	号数	内 容
令和2年5月1日発行 (NO. 67)	第1号	表紙：自宅で過ごす時間に・・・ちょこっと豆知識 『アヤメ・カキツバタ・菖蒲』 (新型コロナウイルス感染症の影響による一時的な生活資金の緊急貸付に関するご案内) P2：令和2年度事業計画・予算の概要 P3：ふれあい・いきいき サロンだより P4：サロンだより、共同募金のつかいみち、災害義援金をお届けいただきありがとうございました P5：ご寄付ありがとうございました、生活資金特例貸付 裏表紙：生活訓練の紹介
令和2年7月15日発行 (NO. 68)	第2号	表紙：いきいき健康クラブ、筋力トレーニング、健康づくりサポート、P-UP 教室、総合相談・・・事業が再開しました！ P2：令和元年度（平成31年度）事業報告・決算の概要 P3：ふれあい・いきいき サロンだより P4：生活資金 特例貸付、ふくおかライフレスキュー事業 P5：ご寄附ありがとうございました、中央共同募金会及び福岡県共同募金会 会長感謝状贈呈 裏表紙：マスクを寄贈いただきました、移送サービスの活動紹介と運転ボランティア募集
令和2年9月15日発行 (NO. 69)	第3号	表紙：～助け合いの心 広い世代に伝えたい～ 市内幼稚園年長児ぬりえ じょうずにできました！ P2：赤い羽根共同募金運動にご協力をお願いします P3：ふれあい・いきいき サロンだより P4：サロンだより、「赤い羽根自販機」を設置しませんか？ P5：ご寄附ありがとうございました、まちがいきがしに挑戦！（赤い羽根共同募金 愛ちゃん希望くんイラスト） 裏表紙：お知らせ「布の絵本制作講座」、「パラスポーツ（ボッチャ）体験会」

令和2年11月15日発行 第4号 (NO. 70) 	表紙：赤い羽根共同募金運動期間 10/1～12/31 P2：福祉表彰受賞者紹介 P3：ふれあい・いきいき サロンだより P4：サロンだより、生活福祉資金特例貸付受付期間延長 P5：ご寄附ありがとうございました、まちがいさがしに 挑戦！～解答編～、使用済み切手を集めています 裏表紙：朗読講座募集、朝倉市災害支援ボランティア事前登録者募集！
令和3年1月1日発行 第5号 (NO. 71) 	表紙：健康寿命をのばしましょう (いきいき健康クラブで「うきは稲荷」お出かけ) P2：新年のあいさつ、まずは体験してみませんか～P-UP 教室～ P3：ふれあい・いきいき サロンだより P4：サロンだより、使用済み切手をありがとうございました、車いすの無料貸出をしています P5：ご寄附ありがとうございました、パラスポーツ「ボッチャ」体験会を開催しました、赤い羽根自販機が設置されました 裏表紙：コミュニケーションアップ講座、いきいき健康クラブ会員募集中
令和3年3月15日発行 第6号 (NO. 72) 	表紙：住み慣れた地域でみんなが安心してらせるように 地域の一員として自分にできることを考えよう・・・福祉体験学習 P2：赤い羽根共同募金運動へのご支援・ご協力ありがとうございました P3：あかいはねトピックス、福祉体験学習、災害義援金を ありがとう P4：ふれあい・いきいき サロンだより P5：ご寄附ありがとうございました、レクリエーション 交流会を開催しました、制服バンクにご協力をお願いします 裏表紙：「災害に強いまち」へ災害時の相互協力を約束、 ボランティア活動保険をご利用ください、「手話講座」受講生募集

②ホームページ

メインメニュー掲載内容

- 『お知らせ』 2021.03.19 制服バンク活動について
 2021.02.17 生活福祉資金特例貸付における総合支援資金の再貸付及び償還免除について
 2020.09.10 赤い羽根共同募金啓発運動「赤い羽根シンボルキャラクター『愛ちゃんと希望くん』ぬりえ」作品をご紹介します
 2020.09.01 災害時支援ボランティアの事前登録募集のお知らせ
 2020.05.07 総合相談窓口の中止延長について
 『社協だより』第2号NO.68～第6号NO.72
 『新型コロナウイルス感染症の影響による一時的な生活資金の緊急貸付に関するご案内』

(4) 寄附

①一般寄附

7件 256,026円

②香典返し

256件 3,385,000円

③災害支援金

2件 5,204円

④物品寄附

上白糖 500g 120袋

ほんだし 40g 18袋

お茶 190g缶 7缶

ポケットティッシュ 750個

(5) 共同募金事務

①共同募金会朝倉市支会会議

区 分	実 施 日	内 容
第1回	4月14日※	・中央共同募金会会長より感謝状（1団体） ・福岡県共同募金会会長より感謝状（4企業） ・平成28年度熊本地震義援金について ・赤い羽根共同募金チラシ等配布方法について
第2回	5月15日※	・福岡県共同募金会朝倉市支会規約について ・令和3年度共同募金回受配事業配分申請について
第3回	6月9日	報告等なし
第4回	7月14日	・共同募金会朝倉市支会理事、評議員会総会について ・令和2年度福岡県豪雨災害義援金について

第5回	8月4日	・共同募金会朝倉市支会理事、評議員会総会 議案第1号 令和元年度 事業報告及び決算について 議案第2号 令和2年度 赤い羽根共同募金運動の実施について
第6回	9月8日	・赤い羽根共同募金運動について 令和2年度 赤い羽根共同募金（戸別）目安額 令和2年度 赤い羽根共同募金運動資材申込書 10月1日赤い羽根共同募金街頭啓発 ・令和2年7月豪雨災害義援金について他
第7回	10月13日	・令和2年度赤い羽根共同募金運動の状況について ・令和2年7月豪雨災害義援金（県別支援）について
第8回	11月10日	・令和2年度赤い羽根共同募金運動の状況について ・令和2年度福岡県共同募金会会長優秀地区表彰について
第9回	12月8日	・令和2年度赤い羽根共同募金戸別募金振込等について ・12月終了の災害義援金について
第10回	令和3年 1月12日	・令和2年度赤い羽根共同募金運動の実績について ・県立朝倉光陽高校より災害義援金の贈呈について ・受付延長の災害義援金について
第11回	2月9日	・令和2年度（令和3年度事業）共同募金配分申請変更（案）について
第12回	3月9日	・令和2年度共同募金会朝倉市支会第1次補正予算（案）について ・令和3年度共同募金会朝倉市支会当初予算（案）について ・災害義援金（受付開始、期間延長、期間終了予定について

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止



②啓発活動

『街頭啓発』 令和2年10月1日・2日（2日間）

市内7か所の道の駅やスーパーで支会長、社協会長及び社協職員で行った。

『広報』 社協だよりへの掲載 第1号No.67～第6号No.72

主な見出し

共同募金のつかいみち、感謝状贈呈団体紹介、「愛ちゃん希望くん」ぬりえ紹介
まちがいさがしに挑戦！、共同募金運動について、赤い羽根自動販売機設置
赤い羽根共同募金運動へのご支援・ご協力ありがとうございました
各世帯に広報紙と一緒にチラシ配布

③募金活動

戸別募金：1世帯あたりおよそ600円目標額

職域募金：企業、団体への募金並びに資材販売協力依頼

イベント募金：住民福祉ボランティアのつどい中止につき、なし

街頭募金：市内7か所

法人募金：2件

学校募金：幼稚園1、小学校1、中学校3、高等学校3

このほか個人募金、自動販売機募金、寄付つき商品募金

(6) 連絡調整等

①社協本所事務事業調整会議

〔会長：本所出勤〕

月1回：月初め会長あいさつ 8：30～ 本所にて

毎週月曜日：事業調整会議、 毎週木曜日：事務決裁

②両筑地区社会福祉協議会 ※令和2年度

朝倉市・うきは市・小郡市・大刀洗町・筑前町・東峰村の6近隣社会福祉協議会をいう。
災害時の協定を締結しており、近隣で災害が発生した場合に、先遣隊が駆けつけ初動体制
を築く。このほか情報共有などのため、研修会等を行っている。

③11市社会福祉協議会 ※令和2年度開催中止

朝倉市・糸島市・大野城市・小郡市・春日市・古賀市・太宰府市・筑紫野市・那珂川市
福津市・宗像市の社会福祉協議会で形成される。

11市社会福祉協議会の事務事業について協議や情報交換を行い、多様化する住民福祉
のニーズに対応し、知育福祉活動の活性化を図ろうとするものである。

④県南地区社会福祉協議会 ※令和2年度開催中止

朝倉市・うきは市・大川市・大木町・大牟田市・小郡市・久留米市・筑後市・みやま市・柳川市・八女市の社会福祉協議会で形成される。

県南地区社会福祉協議会の活動の充実・強化を図るため、地域福祉の推進に関する情報をはじめ人材育成や研究活動を行い、もって各社協の交流を図る事を目的とする。

⑤年間会議開催（出席）状況 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止

中止※	実施日	主催	件名
	4月7日	福岡県地域福祉活動職員部会	福岡県地域福祉活動職員部会引き継ぎ
	4月10日	両筑地区社会福祉協議会	両筑地区社会福祉協議会地域福祉活動部会
✓	4月11日	朝倉市視覚障がい者福祉協会	朝倉市視覚障がい者福祉協会総会
✓	4月14日	朝倉地区障害者自立支援協議会	朝倉地区障害者自立支援協議会 運営部会
✓	4月15日	介護保険事業者協議会	介護保険事業者協議会連絡会
✓	4月16日	朝倉市介護サービス課	地域ケア個別会議
✓	4月17日	朝倉地区障害者自立支援協議会	朝倉地区障害者自立支援協議会 子ども支援部会
✓	4月24日	朝倉市民生委員・児童委員協議会	朝倉市民生委員・児童委員協議会総会
✓	4月26日	朝倉市身体障がい者福祉協会	朝倉市身体障がい者福祉協会総会
	5月8日	卑弥呼ロマンの湯 健康福祉館	第1回健康福祉館あり方検討委員会
	5月18日	両筑地区社会福祉協議会	両筑地区社会福祉協議会事務局引き継ぎ
	5月21日	卑弥呼ロマンの湯 健康福祉館	第2回健康福祉館あり方検討委員会
	5月27日	協力支援団体	朝倉市情報共有会議
	5月29日	福岡県地域福祉活動職員連絡会	福岡県地域福祉活動職員連絡会会議
	6月3日	卑弥呼ロマンの湯 健康福祉館	第3回健康福祉館あり方検討委員会
	6月3日	福祉事務所	新規事業打ち合わせ
✓	6月5日	朝倉市人権同和対策室	朝倉市人権同和教育推進協議会総会
	6月18日	卑弥呼ロマンの湯 健康福祉館	第4回健康福祉館あり方検討委員会
	6月19日	協力支援団体	朝倉市情報共有会議
	6月22日	ふるさと課・JC・社協	災害時支援における三者連携会議

	6月24日	介護サービス課	新年度事業打ち合わせ
	7月 1日	卑弥呼ロマンの湯 健康福祉館	第5回健康福祉館あり方検討委員会
	7月 8日	介護保険事業者協議会	介護保険事業者協議会運営会議
	7月10日	朝倉市介護サービス課	第1回朝倉市地域包括支援センター運営協議会
	7月16日	協力支援団体	朝倉市情報共有会議
	〃	朝倉市福祉事務所	新規事業等打ち合わせ
	7月17日	介護保険運営協議会	介護保険運営協議会会議
	7月27日	両筑地区社会福祉協議会	両筑地区社会福祉協議会地域福祉活動部会
	7月29日	両筑地区社会福祉協議会	両筑地区社会福祉協議会事務局長会
	7月30日	働き方改革支援センター	働き方改革支援指導
	8月 6日	朝倉青年会議所	防災倉庫について
	8月11日	朝倉市介護サービス課	介護サービス課打ち合わせ
	8月20日	協力支援団体	朝倉市情報共有会議
	8月21日	自立支援協議会	自立支援協議会運営部会
	8月26日	朝倉市福祉事務所	令和3年度移送サービス事業打ち合せ
	8月31日	福岡県地域福祉活動職員連絡会	福岡県地域福祉活動職員連絡会役員会
	9月 9日	朝倉市介護サービス課	令和3年度事業打ち合わせ
	9月10日	福岡県地域福祉活動職員連絡会	福岡県地域福祉活動職員連絡会役員会
	9月18日	朝倉地区障害者自立支援協議会	朝倉地区障害者自立支援協議会 子ども支援部会
	〃	働き方改革推進支援センター	働き方改革推進支援相談指導
	9月23日	両筑地区社協連絡会	両筑地区社協連絡会 地域福祉部会
	9月24日	協力支援団体	朝倉市情報共有会議
	10月 9日	日常生活自立支援事業両筑地区ブロック連絡会	日常生活自立支援事業両筑地区ブロック連絡会議
	10月29日	両筑地区社協連絡会	両筑地区社協連絡会 事務局長会
	11月12日	福岡県地域福祉活動職員連絡会	福岡県地域福祉活動職員連絡会役員会

	11月17日	働き方改革推進支援センター	働き方改革推進支援相談指導
	11月19日	協力支援団体	朝倉市情報共有会議
	〃	朝倉市介護サービス課	地域個別ケア会議
	11月26日	朝倉地区障害者自立支援協議会	朝倉地区障害者自立支援協議会子ども支援部会
	〃	朝倉市介護サービス課	第2回朝倉市地域包括支援センター運営協議会
	11月27日	両筑地区社会福祉協議会連絡会	両筑地区社会福祉協議会連絡会ボランティア担当者意見交換会
	12月1日	朝倉市復興推進室	第4回復興推進委員会
	12月4日	福岡県社会福祉協議会	会長・常務理事・事務局長研修会
	12月7日	両筑地区社会福祉協議会連絡会	地域福祉活動部会研修会
	12月12日	朝倉青年会議所	災害備蓄倉庫設置記念式典
	1月21日	協力支援団体	朝倉市情報共有会議
	1月25日	働き方改革推進支援センター	働き方改革推進支援相談指導2回目
	2月10日	朝倉市介護サービス課	第3回朝倉市地域包括支援センター運営協議会
	〃	朝倉介護保険事業者協議会	朝倉介護保険事業者協議会運営会議
✓	2月19日	朝倉地区障害者自立支援協議会	朝倉地区障害者自立支援協議会子ども支援部会
	3月10日	朝倉介護保険事業者協議会	朝倉介護保険事業者協議会運営会議
	3月12日	福岡県地域福祉活動職員連絡会	福岡県地域福祉活動職員連絡会役員会
	3月16日	朝倉市介護サービス課	要援護者見守り支援ネットワーク会議
	〃	人権同和教育推進協議会	人権同和教育推進協議会教育部会総会
	3月18日	朝倉市介護サービス課	地域ケア個別会議
	3月23日	協力支援団体	朝倉市情報共有会議
	〃	子ども未来課	第1回子ども・子育て会議
	3月24日	両筑地区社会福祉協議会連絡会	両筑地区社会福祉協議会連絡会事務局長会
	〃	両筑地区社会福祉協議会連絡会	両筑地区社会福祉協議会連絡会地域福祉部会
	3月26日	朝倉市介護サービス課	介護予防ポイント事業推進委員会

(7) 社会福祉充実計画

H31 年度末充実計画残額 15,670,000円

1か年度目計画予算額(R2年度) 1,530,000円

R2 年度充実計画決算額 198,198円

新型コロナウイルス感染症の拡大防止により、広報活動が思うようにできず、要請があった地区及び団体のみに訪問し、広報活動を行った。

<広報活動>

日 付	相 手 先	件 名
12月10日	高木(宮園)地区	いきいき健康クラブ事業紹介ほか
12月15日	福岡県立朝倉東高等学校	地域福祉活動について
12月18日	高木地区	いきいき健康クラブ事業紹介ほか

(8) 職員研修

みんなの人権セミナー、働き方改革制度指導6回、地域ケア個別会議、両筑地区社会福祉協議会地域福祉活動部会、成年後見制度利用促進基礎研修会、朝倉地区企業内同和推進協議会DVD視聴研修、権利擁護のための取組拡充研修会、会計担当者研修基礎編、日常生活自立支援事業両筑ブロック連絡会議、令和2年度福祉教育セミナー、ライフレスキューフォローアップセミナー、福岡県日常生活自立支援事業専門員研修会Ⅱ、安全運転管理者及び副安全運転管理者講習会、主任相談支援員養成講座、地域ケア推進会議、日常生活自立支援事業専門員実践力強化研修会Ⅱ、生活困窮者自立支援制度人材養成研修(後期)、任意後見制度セミナー

※研修については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となったものやリモートでの研修となりました。

2. 地域福祉及び連絡調整の強化

(1) 地域福祉活動計画推進事業

「第2期朝倉市地域福祉活動計画」を推進するために、市内14地区社会福祉協議会を11月から12月にかけて訪問し、地区社協会長や役員、事務局職員を交えて地区における課題や問題点の確認を行いました。その問題点等を解決するために、毎月開催の地区社協連絡会において情報交換を行うことで、地域福祉の推進に向け取り組みを行いました。

(2) 地域福祉の推進

① 地区社会福祉協議会連絡会

地区社協連絡会は、毎月第2火曜日に開催しています。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月、5月、2月は中止、台風接近のため9月は中止とし資料を送付しました。7月は豪雨により中止とし、地区社会福祉協議会を訪問し説明を行いました。

② 各種団体との連携

朝倉市老人クラブ連合会、朝倉市身体障がい者福祉協会、朝倉市ボランティア連絡協議会、朝倉市母子寡婦福祉会、朝倉市保護司会が行う地域福祉事業等に対して活動助成金を交付し、地域福祉の推進を図りました。

3. ボランティア活動及び福祉教育

(1) ボランティアの育成、養成

市民を対象に高齢者、障がい者、児童を支援する内容の各種ボランティア講座を開講し、市民ボランティアの育成を図りました。

① 育成研修

○福祉ボランティア代表者会

ボランティア活動の啓発・普及とボランティア育成に努めるとともに生きがいづくり仲間づくりの手助けを行い、地域福祉の向上に繋げることを目的として行いました。

日 時：令和2年9月13日（水） 14：00～15：00

参加者：23名

○布の絵本製作講座

未就学児や障がいを持ったお子さんでも見て触って楽しめる布の絵本制作を行い、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりに繋がるボランティア活動の啓発・育成を目的として行いました。

日 時：令和2年10月7日、14日、21日、28日（水）（全4回）10：00～12：00

参加者：10名（託児：1名）

② 養成研修

○コミュニケーションアップ講座

ボランティア活動を行ううえで必要なコミュニケーションの技術を学び、地域で活動するボランティアの養成とスキルアップを図ることを目的として行いました。

日 時：令和3年3月9日、16日、23日（火）（全3回） 13：30～15：30

参加者：17名

③ ボランティアステーションの貸出

福祉ボランティア団体への貸出を行っていますが、新型コロナウイルス感染拡大を防ぐために、緊急事態宣言が出された場合、貸出ができない期間がありました。

令和2年度 使用合計 152回

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
6回	10回	15回	17回	14回	18回	17回	19回	15回	6回	3回	12回

(2) 福祉教育の推進

小・中学校・その他団体に対して、車いす・アイマスクなどのハンディキャップを体験しながら学習を行う。ゲストティーチャーの幹旋などを行う事業

内 容： 車いす体験、アイマスク体験、手話学習、点字学習、高齢者疑似体験
福祉講話等

合 計： 14校 19回

(3) ボランティア活動の広報・啓発・活動の強化

ボランティア活動の広報については、随時行っています。啓発事業としてボランティア育成事業や養成事業を実施しています。コロナ禍においては、感染を防ぐために、ボランティア活動ができない状況になっています。

(4) ふれあいのまちづくり事業

高齢者、障がい児者等の保健福祉の増進と市民の地域福祉活動の推進を図るために、地区社会福祉協議会が主体となって実施する小地域ネットワーク事業、高齢者等地域見守り活動事業、及びボランティア育成事業への支援を行いました。また、市民の総合相談所として、弁護士、民生委員・児童委員協議会、司法書士会の協力を得て総合相談事業を実施しました。

4. 在宅生活支援等事業の推進

(1) 総合相談

総合相談は、心配ごと相談を毎月第2・第4火曜日に本所で、毎月第1・第3火曜日に朝倉支所で、毎月第2・第4水曜日に杷木支所で実施しました。法律相談については、弁護士による相談を月2回、司法書士による相談を月1回本所で実施し、相談者に対し適切な助言と援助を行いました。

	開催回数	相談件数	備 考
心配ごと相談	56回	33件	大雨のため1回中止
法律相談	18回	52件	台風と降雪により2回中止しました。
司法書士相談	10回	30件	

★新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月～5月の2か月間は中止しました。

(2) 生活福祉資金貸付事業

福岡県社会福祉協議会の窓口事業として、本会が受付窓口となり低所得世帯等を対象に低利

子又は無利子で生活福祉資金等の貸付を行いました。また、福岡県社会福祉協議会及び民生委員・児童委員との連携を強化し、償還の指導や生活援助を通じて世帯の安定と自立の支援に努めました。令和2年度相談件数 64 件の内、貸付決定 13 件でした。

内訳：(緊急小口資金 7 件、教育支援資金 4 件、福祉費 1 件、総合支援資金 1 件)

【新型コロナ感染に伴う生活福祉資金特例貸付事業】

新型コロナウイルス感染の影響を受けた方々への生活福祉資金特例貸付事業が令和2年3月23日より開始されました。新型コロナウイルス感染が終息する状況にはないため、令和3年6月まで延長されました。

※朝倉市の状況令和2年3月23日から令和3年3月31日までの相談件数 1,740 件
貸付合計：522 件 (内訳：緊急小口資金 259 件、総合支援資金 263 件)
金額合計：1 億 8465 万円 (内訳：緊急小口資金 4335 万円、総合支援資金 1 億 4130 万円)

※福岡県内の状況 4 月 22 日現在
件数合計：150,577 件 内訳：緊急小口資金 72,845 件、総合支援資金 77,732 件
貸付合計：529 億 6108 万 7 千円
内訳：緊急小口資金 125 億 3814 万 7 千円、総合支援資金 404 億 2294 万円

(3) ふくおかライフレスキュー事業(生計困難者に対する相談支援事業)

「ふくおかライフレスキュー事業」は、制度の狭間の諸問題や生計困難等の生活課題に対し、市内の社会福祉法人(13 法人)が連携することで、職員数や財源に十分な余力がない法人にとっても、過度な負担をすることなく、個々の法人ができる範囲で取り組んでいます。

○第1回ライフレスキュー朝倉連絡会を6月23日に開催

- ① ふくおかライフレスキュー事業について(県社協より説明)
- ② 朝倉市内におけるライフレスキュー事業の支援状況について
- ③ 社協が行う総合相談事業について
- ④ アンケートの集約結果について各法人より報告

○支援者宅片付けについて(8月19日)

ライフレスキュー朝倉連絡会会員へ支援者宅片付けについて協力依頼を行いました。
参加人員 15 名、軽トラック 6 台の協力をいただき家屋の片づけが終了しました。

○第2回ライフレスキュー朝倉連絡会を10月28日に開催

- ① ふくおかライフレスキュー事業について(県社協より説明)
- ② 8 月に行った支援者宅の清掃報告について
- ③ 支援終了した方についての事例検討について
- ④ アンケートの集約結果について各法人より報告

○第3回ライフレスキュー朝倉連絡会の開催

令和3年2月開催予定を新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止としました。

○制服バンクについて

中学校を卒業された方に、不要になった制服をお預かりし、必要とされる方へお渡しする事業（制服バンク）の取り組みを始めました。3月末までに6件の提供がありました。

○フードバンク福岡より食料品の提供について

特定非営利活動法人フードバンク福岡より食料品の提供を月2回受けています。食料品が必要な方に対して渡しています。

○株式会社セブン-イレブン・ジャパンからの支援について

株式会社セブン-イレブン・ジャパンから、社会貢献活動の一環として、店舗改装時等の残商品について、生活に困難を抱えた個人・世帯への支援や地域福祉の推進を図るため、活用いただきたいとの申し出があり、3月31日に51箱（食品36箱、日用品15箱）受け取り、必要な方に対して渡しています。

○支援内容については、相談者45名の内、食料支援40回、日用品3回の支援を行いました。

（4） 日常生活自立支援事業

社会福祉法に基づき、認知症や知的障がい、精神障がいなどで判断能力が不十分な人の権利を擁護することを目的として、地域において自立した生活が送れるよう支援計画に基づき、福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理の事業を行いました。令和元年は24名でしたが、令和2年度は27名となり増加しています。

利用者数	利 用 者 内 訳					
	認知症		知的障害		精神障害	
	利用者数	(生保)	利用者数	(生保)	利用者数	(生保)
27名	15名	(4名)	6名	(2名)	6名	(0)

（5） 地域ミニデイサービス推進事業（ふれあい・いきいきサロン）

家に閉じこもりがちな高齢者等に対して、自治公民館などで「ふれあい・いきいきサロン」の開催を積極的に推進するとともに、レクリエーション、健康体操や趣味活動を支援し、介護予防と地域における福祉コミュニティの推進に努めました。新型コロナウイルス感染拡大を防ぐために、ふれあい・いきいきサロンの開催を中止するサロンも多くありました。開催する場合は、三密を避けるとともに手指消毒や換気に努めて行いました。

	令和2年度	令和元年度	増減	前年度対比
登録個所数	121 か所	121 か所	0 所	±0%
実施開催数	587 回	1,156 回	△569回	51%
参加者数	7,427 名	16,135 名	△8,708名	46%

（6） 通所型介護予防普及啓発事業（いきいき健康クラブ）

高齢者（65歳以上）の方を対象に、介護予防を中心とした生きがい対策の取り組みとして、健康体操や栄養改善及び口腔機能などを柱として、レクリエーションや季節の行事などを通じて、楽しみながら心と体を元気にし、いつまでも自宅で健康に生活ができることを目的と

して実施しました。令和2年3月から6月までは、感染拡大防止のために中止としました。7月からは、三密を防ぐために午前と午後に分けて行いましたが、9月からは火曜から金曜までの週4日を火曜から土曜までの週5日へと変更し、利用人員を減らして対応しました。また、1月の緊急事態宣言の発令に伴い、午前中のみとしましたが解除後は通常の事業としています。飛沫防止を防ぐためにビニールカーテンを設置することと消毒を行うことで対応しました。

	開催回数	令和2年度	令和元年度	増減	前年度対比
甘木地区	324回	4,204名	6,287名	△2,083名	67%
朝倉地区	102回	991名	1,509名	△518名	66%
杷木地区	66回	915名	1,158名	△243名	79%
合 計	492回	6,110名	8,954名	△2,844名	68%

★新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月～6月の3か月間は中止しました。

(7) 外出支援サービス事業

通所型介護予防普及啓発事業（いきいき健康クラブ）を行う開催場所への送迎を行うことを目的として実施しました。なお、朝倉地区はコミュニティバスを利用しています。なお、迎え時にはスタッフが同乗し、乗車時に検温を行うとともに手指消毒を行い感染予防に努めました。

	開催回数	令和2年度	令和元年度	増減	前年度対比
甘木地区	324回	3,935名	5,946名	△2,011名	66%
杷木地区	66回	808名	1,070名	△262名	76%
地域送迎	感染防止のため中止		726名	△726名	
合 計	390回	4,743名	7,742名	△2,999名	61%

(8) 地域送迎事業

甘木地区の方を卑弥呼ロマンの湯に送迎する事業ですが、新型コロナウイルス感染拡大を防ぐために送迎を中止としました。

(9) 高齢者筋力トレーニング事業

高齢者（65歳以上）の方を対象に、トレーニング機器を使ってインストラクターの指導のもとに、運動機能の維持及び向上を図り、介護予防・健康支援を目的として実施しました。1月の緊急事態宣言の発令に伴い、定員を12名から8名へ（三密の防止）と変更しましたが、現在は12名としています。感染防止対策のため、運動機器の消毒を随時行っています。

1クール（年間4クール）・毎週火曜日と金曜日（週2回）、3か月間で24回の事業。

登録者数 8名 （1クール平均）

年間利用者 182名 （ ” ）

	令和2年度	令和元年度	増減	前年度対比
登録者数	25名	48名	△23名	52%
利用者（延数）	545名	935名	△390名	58%

★新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月～6月の3か月間は中止しました。

（10）健康づくりサポート事業

高齢者筋力トレーニング事業を修了された方を対象として、継続的にトレーニング機器を使ってインストラクターの指導のもとに、運動機能の維持向上を目的として実施しました。7月からは、三密を防ぐために、予約制とし利用時間を1時間30分へ変更し1週間に計12回実施しています。1月の緊急事態宣言の発令に伴い、定員を12名から8名へ（三密の防止）と変更し、感染防止対策のため、運動機器の消毒を随時行っています。

	令和2年度	令和元年度	増減	前年度対比
利用者（実数）	429名	666名	△237名	64%
利用者（延数）	2,469名	2,804名	△335名	88%

★新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月～6月の3か月間は中止しました。

（11）P-UP教室

朝倉市内在住の16歳以上を対象として、利用者の筋力、筋持久力、それぞれの疾患などの身体状態や利用目的等を鑑み、各種マシンを使用したより効果的な運動プログラムを作成・提供することで、疾病の予防、メタボリックシンドロームの改善等、健康で活動的な生活が送れるように取り組みを行いました。

通常、午後6時から午後9時まで実施していますが、1月の緊急事態宣言発令後は、午後8時までとしましたが、解除後は通常どおり午後9時までとして実施しています。

	令和2年度	令和元年度	増減	前年度対比
利用者（実数）	65名	141名	△76名	46%
利用者（延数）	382名	790名	△408名	48%

★新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月～6月の3か月間は中止しました。

（12）年賀寄付金配分金事業

年賀寄付金配分事業は、「お年玉付郵便葉書等に関する法律」に基づいて、日本郵便株式会社がこれを行っており、「寄付金付年賀葉書」および「寄付金付年賀切手」の寄付金を、法律に定められている「風水害、震災等非常災害による被災者の救助又はこれらの災害の予防を行う事業」を行う団体に配分されています。本会は、下記のとおり申請したところ採択されましたので、令和元年度に引き続き「笑いの健康」講座を実施しました。

《申請事業名》

「九州北部豪雨で被災された方々の心と体を元気にするための「笑いの健康」講座開催事業

《申請事業の内容（概要）》

九州北部豪雨で被災した朝倉市内において、NPO 法人「博多笑い塾」による「心と体を元気にする笑いの健康講座」を開催しました。朝倉市社会福祉協議会が支援している「ふれあい・いきいきサロン」の中から受講希望のサロンを募り、また市内各地から高齢者が集まる老人福祉センターにおいても講座を行いました。1 講座 1 時間から 1 時間半の中で、健康講話、マジックショー、マジック体験など、参加者も一体となって楽しむことができました。コロナ禍にあり開催が難しい部分もありましたが、参加者からは、「こんな時だからこそ、やってよかった」との声がきかれ、人と会わない日々が続く中で、皆が笑顔になり、心と体の健康につながる事業となりました。

開催回数 23 回を予定していましたが、新型コロナウイルス感染防止対策のためサロン活動を中止されたところもあり、実施回数は 17 回となりました。

(1 3) 地域支え合いセンター事業

朝倉市からの委託を受け、九州北部豪雨で被災された方々が安心した日常生活を取り戻し、自立した生活再建ができるよう、相談・声かけなどの見守りや地域交流促進支援、及び公的支援（行政や福祉サービスなど専門機関による支援）へのつなぎを行いました。地域支え合いセンターが発足して 3 年 2 か月が経過し、契約期間の終了となりました。訪問対象世帯件数 1,082 件のうち、支援終結世帯が、1,002 世帯、今後訪問が必要な世帯は 80 世帯となっています。なお、令和 3 年度より市の復興推進室が直接地域支え合いセンターを運営します。

	A	B	C	D	E	X	判定数
年度	重点	継続支援	定期見守り	経過観察 (2 か月)	経過観察 (3 か月)	終結	
30 年度		1	21	151	574	335	1,082
元年度			1	70	224	787	1,082
2 年度				16	64	1,002	1,082

(1 4) 災害ボランティアセンター運営事業

令和 2 年度は、大規模な災害も発生しなかったため、災害ボランティアセンターは設置しませんでした。7 月の大雨により被害を受けた家屋に対してボランティア活動を行いました。

・活動内容：8 月 5 日（水） 活動場所：杷木志波地区、秋月地区 参加者：9 名

【災害備蓄倉庫について】

平成 29 年の九州北部豪雨で朝倉市は、甚大な被害を受けました。そこで、一般社団法人朝倉青年会議所と朝倉ライオンズクラブは、平時より災害に備えた資機材や備品備蓄など全国からの応援場所を確保するために、朝倉市と協議を行い朝倉市の所有地に災害備蓄倉庫を建設し、社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会が管理することになりました。

「災害復旧ボランティア資材倉庫の寄贈・管理に関する協定書」の締結

朝倉市（所有者）と公益社団法人朝倉青年会議所（寄贈者）、社会福祉法人朝倉市社会福祉協

議会（管理者）は、災害復旧ボランティア資材倉庫の寄贈・管理について令和 2 年 11 月 30 日に協定書を締結しました。

・災害備蓄倉庫完成式典が令和 2 年 12 月 12 日に行われました。式典に合わせて、一般財団法人朝倉青年会議所と朝倉市、筑前町、東峰村とそれぞれに締結していた「災害時相互協力協定」を 3 市町村併せて、「災害時広域相互協力協定」として締結しました。

災害備蓄倉庫設置場所 朝倉市三奈木 3510 番地 1
面積 250.63 m² (約 75 坪)

資機材は、朝倉ライオンズクラブより寄贈を受ける予定となっています。

5. 共同募金事業

(1) 老人福祉活動事業

- ・朝倉市老人クラブ連合会への活動助成

朝倉市老人クラブ連合会が行う地域福祉活動に活動助成を行いました。

- ・ほのぼの配食・会食事業（高齢者等地域見守り活動事業）

「ほのぼの配食・会食事業」については、高齢者の見守り活動を目的として配食・会食事業をなされてきました。しかし、新型コロナウイルス感染の恐れがあるため、お弁当の調理や配達ができない状況となりました。そのため、お弁当だけではなく物品等の配達をすることで見守り活動に対応することにしました。事業名称も「ほのぼの配食・会食事業」から「高齢者等地域見守り活動事業」へと変更しました。

- ・ふれあい・いきいきサロン支援事業（ふれあい・いきいきサロン活動助成）

市内のふれあい・いきいきサロン 95 団体に活動支援を行いました。

(2) 障害児（者）福祉活動事業

- ・障がい児者交流ボランティアワーク

パラスポーツを当事者と一緒に体験することで、パラスポーツと障がいについて学び理解を深め、ボランティア活動への推進を図ることを目的に、障がい者スポーツ協会によるパラスポーツ（ボッチャ）体験会を開催しました。

日 時 : 令和 2 年 11 月 7 日（土） 10:00～12:00

参加者 : 16 名

- ・障がい児者レクリエーション交流会

日頃、地域との交流が少ない在宅の障がい児者や保護者と地域住民やボランティアとの交流を深めることにより、障がいへの理解と福祉の向上を図ることを目的に実施しました。

日 時 : 令和 2 年 12 月 20 日（日） 10:00～12:00

参加者 : 38 名

- ・身体障がい者福祉協会支援事業

朝倉市身体障がい者福祉協会が行う地域福祉活動に活動助成を行いました。

(3) 児童青少年福祉活動事業

- ・小中学生ボランティアスクール（手話講座）

市内の小・中学生を対象に、あいさつや自己紹介の方法など、簡単な手話を学ぶとともに

に、手話でコミュニケーションを図りながら交流することで、障がいについて理解を深めることを目的に、7月から8月にかけて実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大を防ぐために、中止としました。

- ・福祉協力指定校助成事業

市内の小学校・中学校・高校を対象として、福祉協力指定校を募集し福祉学習の助成並びに指導を行いました。福祉協力指定校については、7月に福祉協力校連絡会を開催し助成事業についての連絡会を開催していますが、昨年度は新型コロナウイルス感染拡大を防ぐために、中止としました。

- ・母子寡婦福祉会助成事業

朝倉市母子寡婦福祉会が行う地域福祉活動に対して活動助成を行いました。

(4) 福祉育成援助活動事業

- ・社協だより発行（総務課参照）

- ・調査研究費

地域福祉活動を推進するために必要となる「月刊福祉」や「福祉新聞」を購入し、事例等を学ぶことで役立てています。

- ・住民福祉ボランティアのつどい

福祉に関する理解と啓発を行うとともに、地域で活動する市内福祉ボランティア団体の活動事例発表及び新たなボランティアの人材発掘と育成を行うことを目的として、朝倉市、朝倉市ボランティア連絡協議会、朝倉市身体障がい者福祉協会、朝倉市老人クラブ連合会、朝倉市保護司会、朝倉市母子寡婦福祉会の後援を受けて「朝倉市住民福祉ボランティアのつどい」を10月3日に開催する予定でしたが、新型コロナ感染拡大を防止するために中止としました。

- ・ボランティア育成事業

市民を対象に高齢者、障がい者、児童を支援する内容の各種ボランティア講座を開講し、市民ボランティアの育成を行いました

- 福祉ボランティア代表者会

ボランティア活動の啓発・普及とボランティア育成に努めるとともに生きがいづくり仲間づくりの手助けを行い、地域福祉の向上に繋げることを目的に行いました。

日 時 : 令和2年9月13日(水) 14:00～15:00

参加者 : 23名

- 布の絵本製作講座

未就学児や障がいを持ったお子さんでも見て触って楽しめる布の絵本制作を行い、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりに繋がるボランティア活動の啓発・育成を目的として行いました。

日 時 : 令和2年10月7日、14日、21日、28日(水) (全4回)

10:00～12:00

参加者 : 10名(託児:1名)

- コミュニケーションアップ講座

ボランティア活動を行う上で必要なコミュニケーションの技術を学び、地域で活動するボランティアの養成とスキルアップを図ることを目的として行いました。

日 時 : 令和3年3月9日、16日、23日(火) (全3回)

13:30~15:30

参加者 : 17名

・ボランティア連絡協議会助成事業

朝倉市ボランティア連絡協議会が行う地域福祉活動に対して助成を行いました。

・地区社協(ネットワーク)共催事業

小地域ネットワーク事業推進や地域福祉向上を目的とする活動を通じて住みやすい地域福祉向上を目指すために地区社会福祉協議会へ助成を行いました。

・地区社協事務取扱い助成事業

地区社会福祉協議会が取り扱う本会の事務事業に対し、事務費の一部を助成することにより、地域福祉活動の促進を図ることを目的に助成を行いました。

・保護司会助成事業

朝倉市保護司会が行う地域福祉活動に対して助成を行いました。

・福祉機器整備事業

福祉機器の修理や福祉体験学習に使用する器具などの整備を行いました。

(車いすのタイヤ交換4台、メンテナンス37台)

6. 障害者総合支援法等障がい者関連事業の推進

(1) 地域生活支援事業

障がい児・者にとって、もっとも身近な市町村において、ノーマライゼーションの理念の実現に向けて、個人のニーズに寄り添った事業を実施することにより、自立と社会参加ができることを目的として実施しました。

★新型コロナウイルス感染拡大防止のため、年間を通じて行う手話奉仕員養成講座(入門編・基礎編)と手話通訳者養成講座(通訳Ⅰ)は、中止としました。また、生活訓練事業は、4月から8月まで事業を中止とし、9月より再開しました。

① 障がい者移動支援事業

外出が困難な重度の視覚障がい者、身体障がい者、知的障がい者及び精神障がい者に対し、社会生活上必要不可欠な外出及び余暇活動等の社会参加を目的として外出の際の移動支援事業を実施しました。

利用回数・・・6回、利用時間・・・13時間、利用者数・・・4名

	令和2年度	令和元年度	増減	前年度対比
利用回数	6回	16回	△10回	38%
利用者数(延数)	6名	12名	△6名	50%
利用時間	13時間	51時間	△38時間	25%

★新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月～6月の3か月間は中止しました。

7. 指定管理運営事業の受託

(1) 老人福祉センター指定管理

市内2か所の老人福祉センター管理の指定を朝倉市より受けています。

令和2年度～令和6年度（5年間）

衛生管理に努め、総合訓練（防火、避難）を年2回行い、携わる臨時職員及び職員は、甲種防火管理新規講習を受けています。

①朝倉老人福祉センター

朝倉市宮野2047番地1

来館者数 6,378名

②杷木老人福祉センター

朝倉市杷木寒水99番地2

来館者数 1,340名

8. その他自主事業

(1) 福祉機器等の貸出

福祉機器（車いすなど）を必要とする方に貸出を行う事業

甘木本所 : 26件

朝倉支所 : 4件

杷木支所 : 6件

合 計 : 36件

(2) 社会福祉援助技術実習の実施

社会福祉士をめざす実習生を受け入れ、指導を行う事業

令和2年度は、受け入れなし

